

公の施設目標管理シート（直営）

問合せ先 025-373-6600

年度	平成25年度		
施設名	重要文化財旧笹川家住宅	所管部・課	南区役所地域課
施設の設置目的	旧笹川家住宅を活用し、味方地区の歴史資料、民俗資料、その他の資料を保存し、及び公開することにより、市民の歴史及び文化に対する認識を深めるとともに、市民文化の向上に資する。		

当初予算(千円)		当初人員(人)		作成日	H25.4.21
歳入	3,178	正職員		修正日	
歳出		非常勤	1	評価日	

No.	視点	目標	評価指標					参考・補足	主な事業等	目標達成状況 未達成理由	評価	
			項目	H22実績	H23実績	H24実績	H25目標					H25結果
1	市民	ボランティアガイドの充実	現在6名のボランティアガイドを増員する	6名	7名	12名	15名	12名	専門的知識を有する必要があるガイド業でありながら手弁当で無報酬のため、人材の発掘が難しい	H24年度事業の「ボランティアガイド募集・養成講座」の受講生を積極的に募集する	募集・養成講座に参加した人に登録を依頼したが理解が得られなかった。	C:未達成
2	市民	ボランティアガイドの情報交換の徹底	月1回の情報交換会を行い笹川邸に関する新しい情報の発掘に努め	10回	11回	9回	12回	10回	ガイド業務中に新しい発見や、情報を得ることがあるので、その知識の共有を行う		冬期間は入館者も少ないことから情報交換会は休止することとした。	C:未達成
3	市民	入館記念として、笹川邸のマスケット銃“ささたん”（笹団子のミニチュア）の作成し、入館者に贈呈する	入館者に記念品として”ささたん”を1人1個配布する	—	—	8,695人に配布	8,000人に配布	約4,000人に配布	記念品の”ささたん”を媒体に笹川邸のPRも進め、入館者の拡大も図る	重要文化財旧笹川家住宅邸 活性化事業（笹川邸ハルティグッズ配布事業）	入館者の減少に伴い、配布数も減少した。	C:未達成
4	業務	大庄屋の会（ボランティアガイドの会）によるPRの実施	道の駅「新潟ふるさと村」でパンフレットの配布など誘客活動を行う	—	年1回	年0回	年1回	年0回	味方小学校・中学校の児童・生徒と一緒に、笹川邸のPRなどを行う		今年は、味方小学校4年生と一緒に「笹川邸ちびっ子ガイド」の事業に取り組んだ	C:未達成
5	業務	防火訓練の実施	国の重要文化財である「笹川邸」の防火対策を強化する	年1回	年1回	年2回	年1回	年2回	文化財防火デーに伴う消防訓練と併せて初期消火の訓練を行い、初動体制のさらなる強化に努める	文化財防火デー消防訓練 南消防署の立入検査時の訓練	文化財防火デー消防訓練(1/26)及び笹川邸自衛消防隊(7/26)で初期消火訓練を行った	B:達成
6												
7												
8												
9												
10												

取り組みについて(目標設定の考え方など)	総合評価 (評価を踏まえた課題分析・方向性など)
当施設は、市単独所有の唯一の重要文化財であり、文政9年(1825)に7年の歳月をかけて建築された古い邸宅で、敷地面積が14,252.24㎡、すべての施設の延べ床面積が1,869.57㎡もある大庄屋の役宅兼住居であり、その取り扱いには細心の注意が必要な施設として、今後も維持管理を行い、江戸時代の建築物を大勢の人から見てもらう目標で設定した。	昨年開催した笹川邸のボランティアガイド募集・養成講座の開催を受けて、参加者にガイド登録の勧誘を積極的に行ってきたが、目標を達成することができなかった。今後とも引き続き勧誘を行うとともに、興味を持ってもらえるよう、幅広く声掛けに努めていく。そのためにもボランティアガイドの情報交換は重要であることから、目標達成に向けて意識の向上を図っていく。 また、重要文化財としての価値をPRするとともに、国、県、新潟市としても重要な施設であることから、火災などの失火に十分注意する必要があるため、今後とも計画的に防火対策・初期訓練などを行い、職員としての意識を高めていく。